

議第 1 号

豊科都市計画道路の変更について

平成 24 年 2 月 9 日提出
長野県都市計画審議会長

23 都第 349 号
平成 24 年 1 月 24 日

長野県都市計画審議会長 様

長 野 県 知 事

豊科都市計画道路の変更について

このことについて、都市計画法第 21 条第 2 項の規定において準用する同法第 18 条第 1 項の規定により、次のように審議会に付議します。

豊科都市計画道路 の変更（長野県決定）

都市計画道路中 3・5・5号 東町通線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車線数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・5・5	東町通線	安曇野市 豊科南穂 高地内	安曇野市 豊科 2698 1	安曇野市 豊科地内	約 2,280 m	地表式	2	12m	幹線街路と平面 交差5ヶ箇所	

「区域等は計画図表示のとおり」

理 由

本都市計画区域における街路網の見直しを行った結果、3・5・5号 東町通線の一部を廃止とするとともに、併せて車線数を決定する。

資料1 - 1

凡 例

- 変更後
- 削 除
- 整備済区間
- 概成済区間
- 用水路
- 説明会開催範囲
- 道路事業実施中区間
- 資料(図面)エリア

資料1 - 3 P - 6

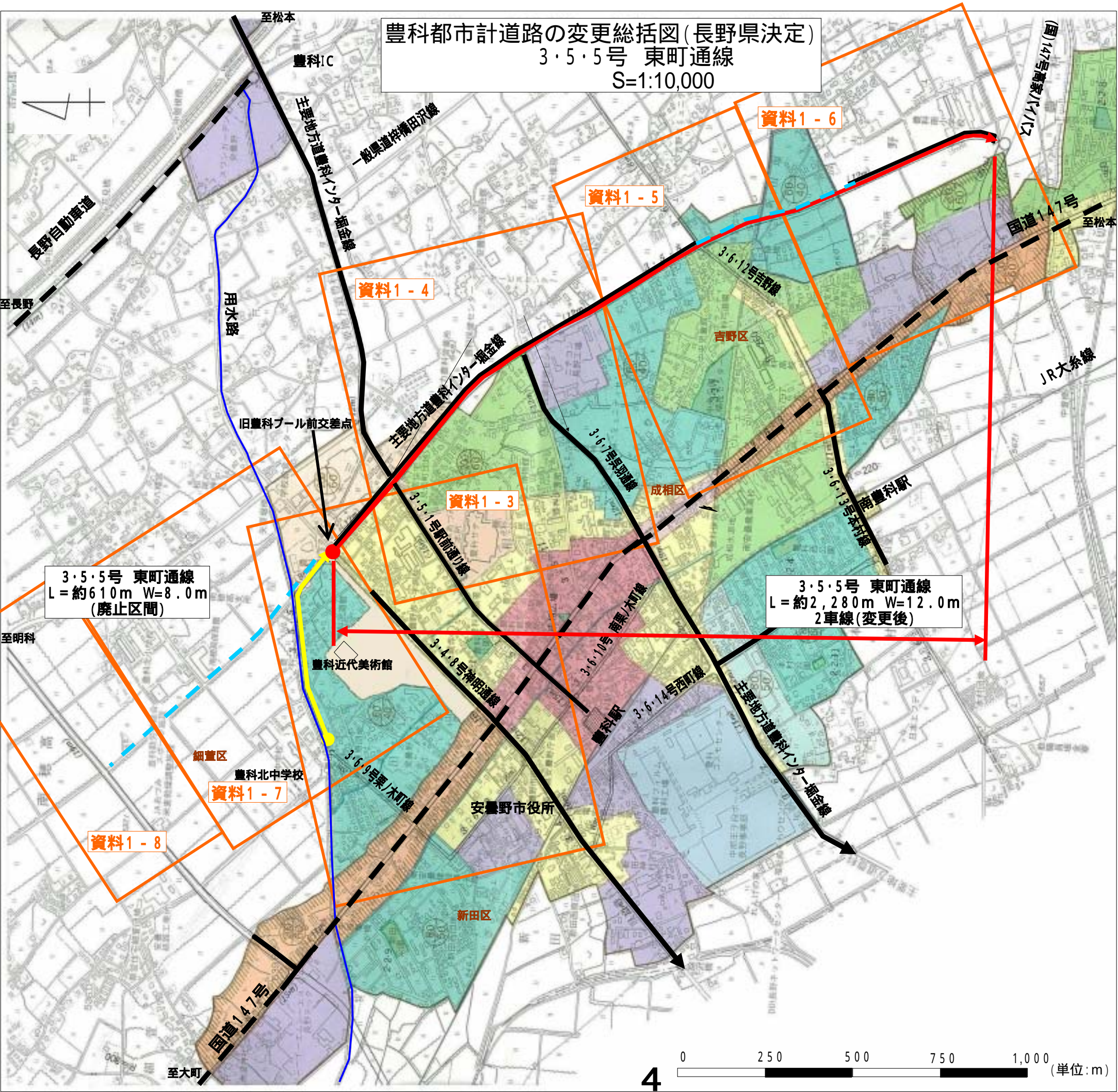
資料1 - 4 P - 7

資料1 - 5 P - 8

資料1 - 6 P - 9

資料1 - 7 P - 10

資料1 - 8 P - 11



理由書

3・5・5号 東町通線

・ 現況説明

豊科都市計画道路3・5・5号 東町通線（以下「東町通線」）は、昭和30年に豊科市街地の外郭環状道路として位置づけられ、幹線として計画決定された街路である。現在その一部は完成しているが、平成22年度末での整備率は約54％である。

・ 変更理由

「東町通線」は決定当初、豊科市街地の外郭環状道路として位置付けられ、昭和30年に現在の豊科北中学校・豊科近代美術館付近を起点に豊科市街地の東縁を南に延長し、昭和30年代の県道梓橋田沢停線周辺へ接続する、延長約3,324m、幅員11mで決定された。

その後、周辺県道、市道の整備により線形等の変更が行われ、現在では、国道147号高家バイパスの計画に伴う線形及び延長変更等の変更を経て、延長約2,890m、幅員12.0mの都市計画決定がなされ現在に至っている。

また、東町通線は用途地域の外縁部に位置し現在も、用途地域外との緩衝機能を担っている。

しかしながら、近年高速道路及びそのアクセス道路の整備により交通の流れが変化してきていること、人口減少や自動車保有台数の将来的な減少見込みをふまえ、道路ネットワークを見直す中で、豊科の市街地周辺を南北に通過する将来の交通量の処理は、国道147号、東町通線、県道梓橋田沢停線があるとともに、交通需要を分担できる道路として市街化区域東側の旧豊科プール前交差点以北に既存のものがあり、一部道路新設などにより、市街化区域内の整備済み区間である東町通線（市道）や神明通線と有機的に結ぶことができる。これにより旧明科町側の交通需要を効率的に豊科市街地へ誘導できるとともに、新設区間については、地元合意が図られ、事業化の見通しがついたことから、交通機能の代替えが可能となる。さらに、用途地域の外縁としての緩衝機能については、用水路が「東町通線」沿いに位置しており、緩衝機能は確保されること、さらには、起点側は民間により宅地開発されており、道路の整備がされていることで防災機能面についても確保されていることから、旧豊科プール前交差点以北の区間約610mを廃止し、併せて本路線の車線数を2車線に決定するものである。

都市計画の策定の経緯の概要

豊科都市計画道路の変更（3・5・5号 東町通線）

事 項	時 期	備 考
地元説明会	平成23年 3月 1日（火） 平成23年 3月 3日（木）	地権者 細萱区、新田区 成相区、吉野区 公述の申出がなかったため中止
変更案の申出 （都市計画法第15条の2第1項）	平成23年 8月11日（木）	
公聴会開催の公告	平成23年 9月29日（木）	
素案の閲覧	平成23年 9月30日（金）から 平成23年10月13日（木）まで	
公述申出書提出期限	平成23年10月13日（木）	
公聴会 （都市計画法第16条第1項）	平成23年10月24日（月）	
計画案の公告	平成23年10月31日（月）	
市町村への意見聴取 同上回答 （都市計画法第18条第1項）	平成23年10月26日（水） 平成23年12月12日（月）	
計画案の縦覧 （都市計画法第17条第1項）	平成23年11月 1日（火）から 平成23年11月14日（月）まで	
長野県都市計画審議会 （都市計画法第18条第3項）	平成24年 2月 9日（木）	
決定告示 （都市計画法第20条第1項）	平成24年 2月 中旬（予定）	

豊科都市計画道路の決定(変更)
計画図(長野県決定)(1/4)
3・5・5号 東町通線

資料1 - 3

3・6・9号 栗ノ木町線
L = 約950m W=8.0m

3・5・5号 東町通線(廃止区間)
L = 約610m W=8.0m

(国)147号

3・4・8号神明通線

0 20 50 100 150 200m

凡例

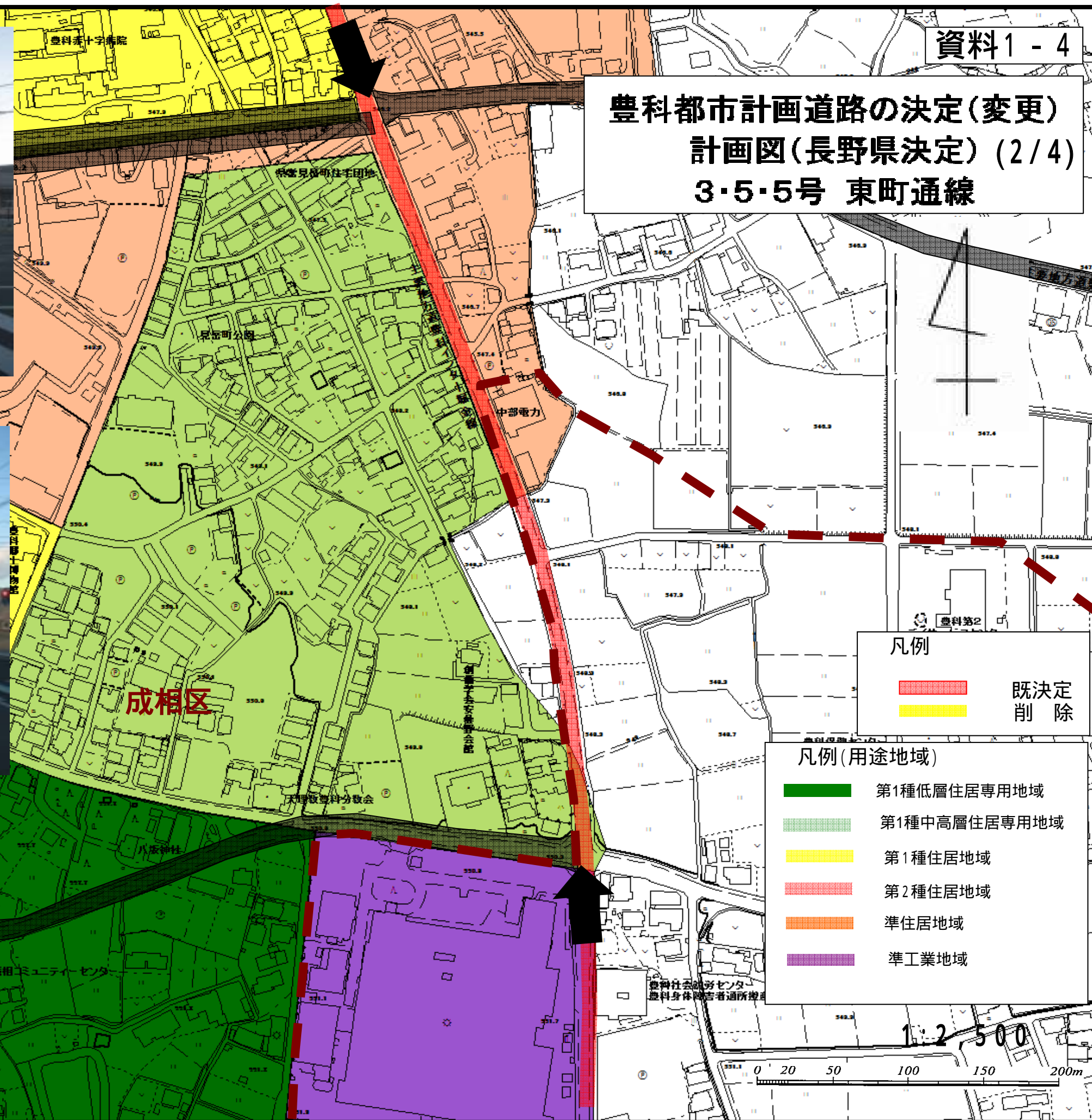
既決定
削除

凡例(用途地域)

- 第1種低層住居専用地域
- 第1種中高層住居専用地域
- 第1種住居地域
- 第2種住居地域
- 準住居地域
- 準工業地域



豊科都市計画道路の決定(変更)
計画図(長野県決定)(2/4)
3・5・5号 東町通線



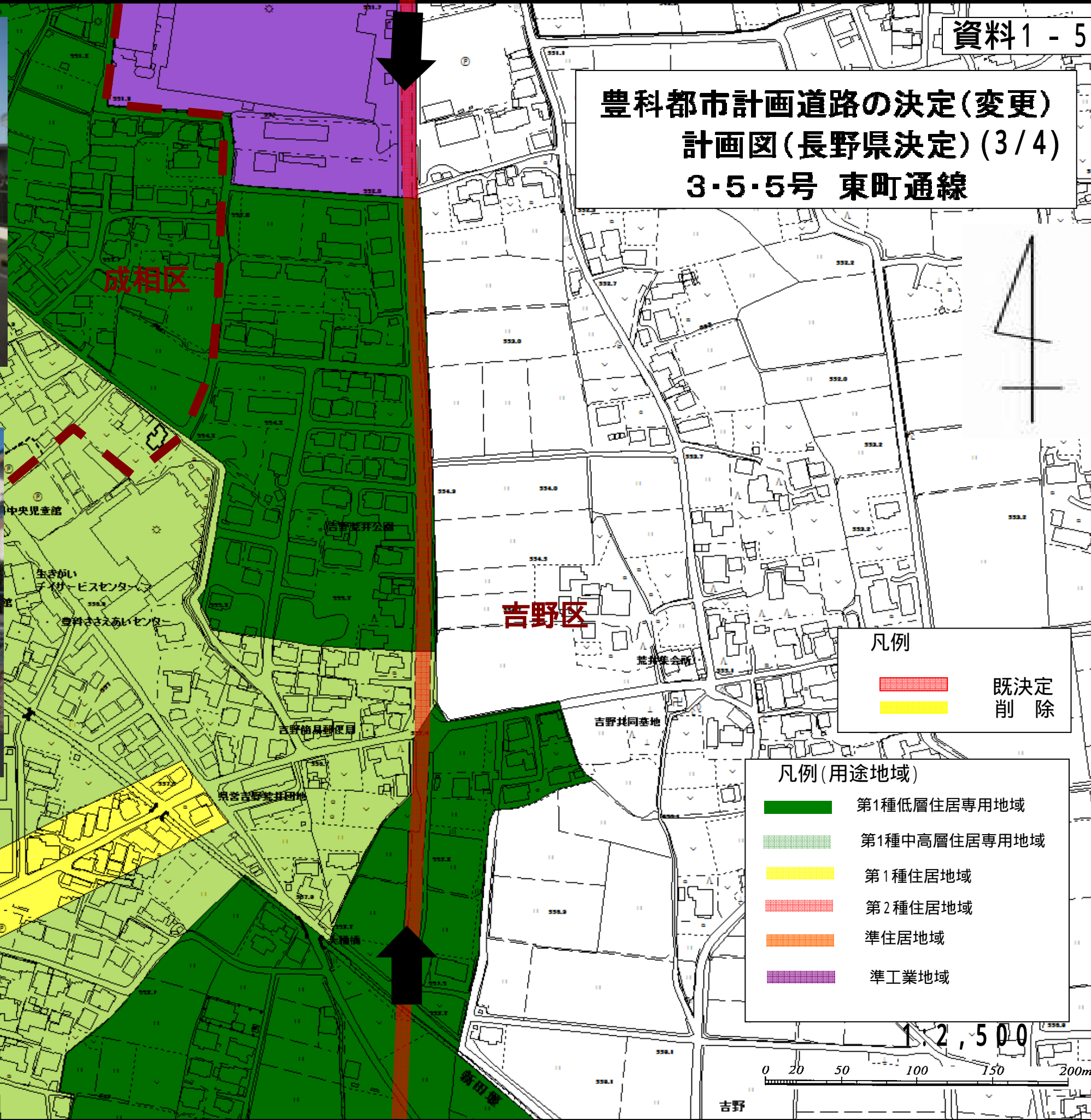
凡例
既決定
削除

凡例(用途地域)

- 第1種低層住居専用地域
- 第1種中高層住居専用地域
- 第1種住居地域
- 第2種住居地域
- 準住居地域
- 準工業地域

(国)147号

豊科都市計画道路の決定(変更)
計画図(長野県決定)(3/4)
3・5・5号 東町通線



(国) 47号

凡例
既決定
削除

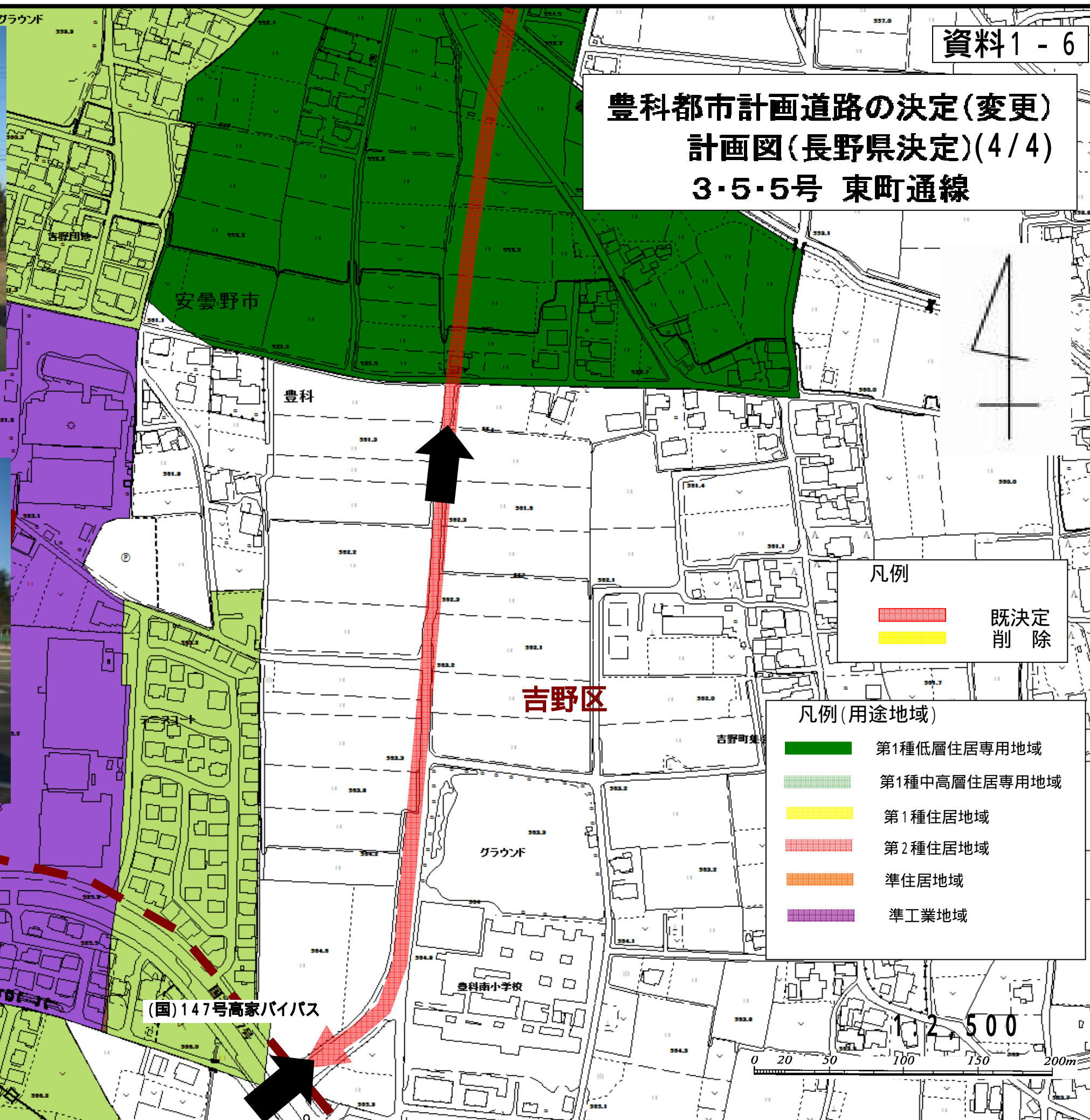
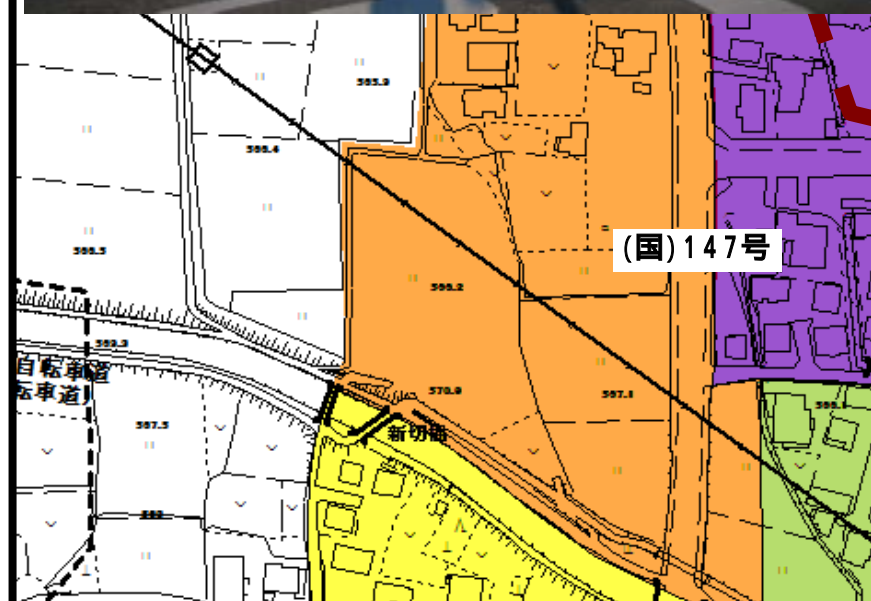
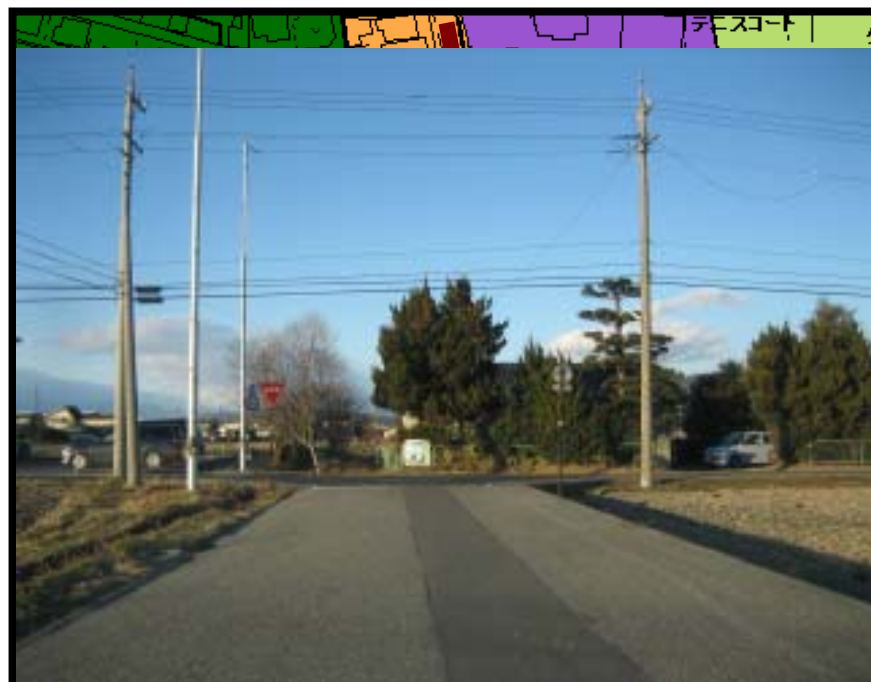
凡例(用途地域)
第1種低層住居専用地域
第1種中高層住居専用地域
第1種住居地域
第2種住居地域
準住居地域
準工業地域

1:2,500

0 20 50 100 150 200m

吉野

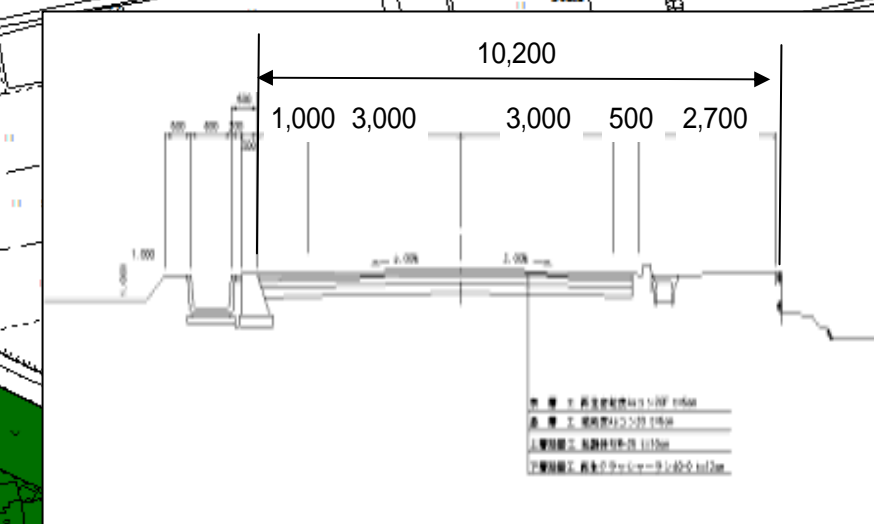
豊科都市計画道路の決定(変更)
計画図(長野県決定)(4/4)
3・5・5号 東町通線



資料 1 - 7



豊科都市計画道路の決定(変更) 参考図 (2/2)

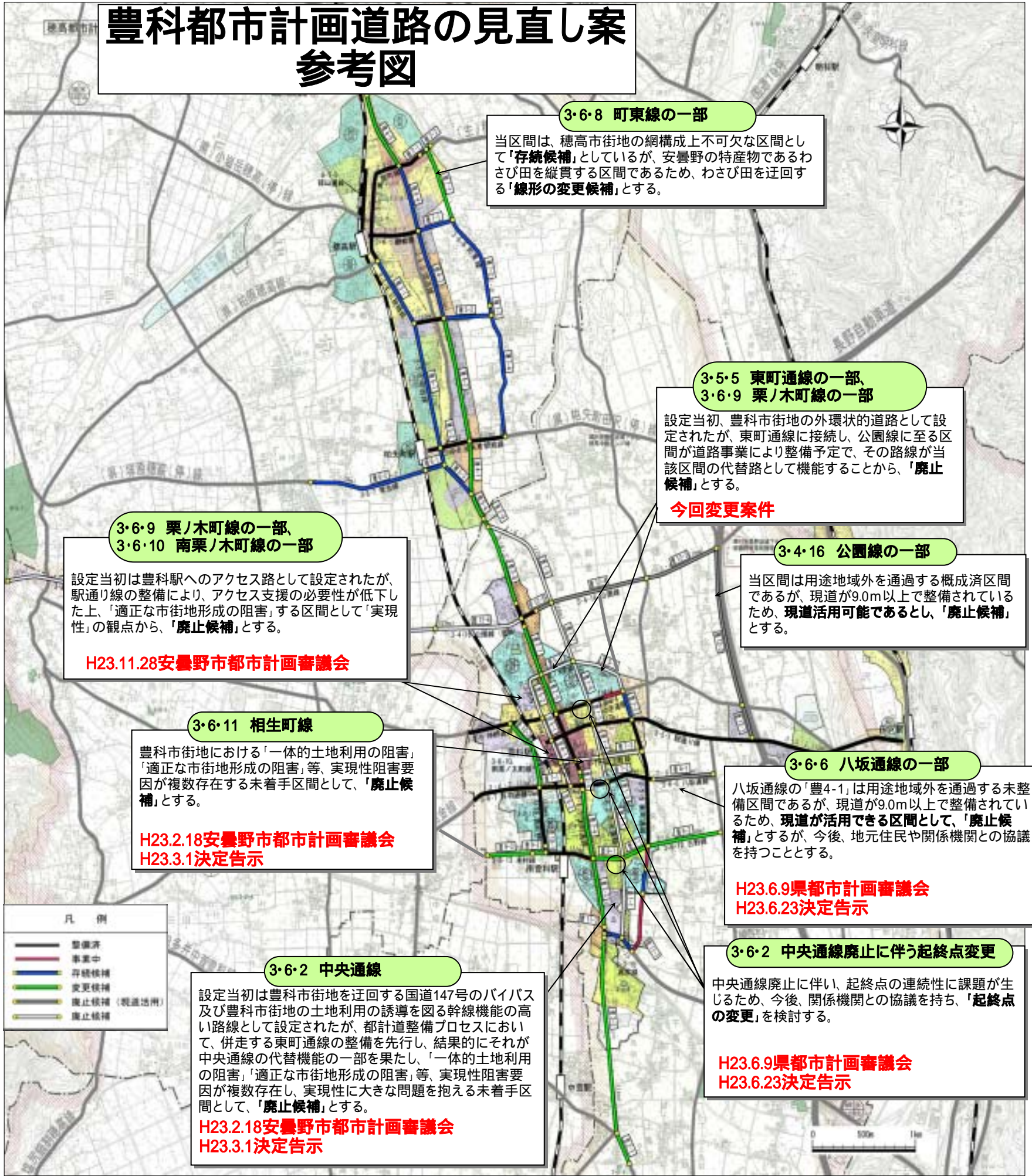


都市計画決定に係る意見書の要旨

資料 1 - 9

議案番号	議第 1 号	名 称	豊科都市計画 東町通線	都市計画の案の 公告・縦覧期間	公告 縦覧 平成 23 年 10 月 31 日（月） 平成 23 年 11 月 1 日（火）から 平成 23 年 11 月 14 日（月）まで	広報の手段	県報公告 県・市ホームページへの掲載 市広報誌への掲載	利害関係の種別	
								関係市町村 の住民	区域内に住所を持つ者
								利害関係人	区域内の土地に、所有権・賃借権を持 っている者、その土地の周辺の住民
意見書提出者				意 見 の 要 旨		意 見 に 対 す る 見 解			
番号	住 所	利害関係	要旨区分						
1	安曇野市	関係市町村の住民	反対	1 豊科都市計画道路の変更について 安曇野市マスタープランにおいて、都市計画道路の見直しの項目では、さまざまな検証や検討に基づき、都市計画の早期変更・決定していくこととなっている。 また、第 17 回安曇野市都市計画審議会における委員の意見で「都市計画道路は豊科、穂高、堀金に設定されているが、一度に見直しをするのか」に対して、市は「市内全域を一度に見直さないと交通量の整合が図れない」と回答している。 しかし、上記を踏まえず、五月雨式、場当たりに廃止、変更しており現時点での廃止について反対である。 都市計画というものは、10 年 20 年と先を見据えて、整備にあたって規制、誘導していくものであるため、マスタープラン 4 - 15 ページのとおり検討のうえ、南北基幹軸及び東西基幹軸を計画決定していくべきであり、今回の廃止はそれまで凍結すべきである。 2 要望 市ホームページに公表されている安曇野市都市計画審議会の会議概要に審議案件の内容（決定変更路線名、変更内容）が記述されておらず、どのような内容を審議したのか分からない。公表に当たっては審議案件及び会議事項の内容の概要が住民に分かるようまとめて公表するよう要望する。		1 都市計画道路は、高度経済成長期の人口増加、右肩上がりの経済成長、交通量の増大、市街地の拡大などの時代に、多くが決定されております。 しかしながら、近年の人口の急激な減少、経済の低成長、交通量の減少、自動車保有台数の減少など、社会経済情勢の変化を踏まえ、県では平成 18 年度に「都市計画道路見直し指針」を策定し、県内市町村へ都市計画道路の見直しを行うよう働きかけているところです。 このような中、平成 22 年度に安曇野市が全体的な都市計画道路の見直しを行い、市民の意見を反映するパブリックコメント等を経て、廃止・存続する候補路線を選定し、市民へ公表した上で、 現道がない区域を都市計画道路として決定しているものの廃止・変更 都市計画道路上に現道があるが、その幅員・法線又は起終点等の変更をするものの廃止・変更 と優先順位を決め、関係機関との協議のうえ、住民説明を行い、合意形成が図られた道路から変更（廃止）を行ってきております。 意見書の中にある市マスタープランの中で、南北基幹軸及び東西基幹軸は、既存道路の改良を位置づけたものであり、この道路を活かした都市計画道路の見直しを行っております。 今回の都市計画道路の変更は、の道路で、道路の一部が県道であることから、法第 15 条第 1 項第 5 号の規定により県決定となりますが、安曇野市から法第 15 条の 2 第 1 項の規定により都市計画の案の申し出があり、県としてはこの案を尊重し、申し出案のとおり都市計画を変更することが適当と判断し、法第 16 条第 1 項の規定により公聴会を開催したところ、公述の申し出がなかったため、都市計画の手続きを進めてきました。 以上のことにより、今回の変更を行うことは、都市計画法上問題ないと考えております。 2 都市計画に係る情報公開に積極的に努めるべきであり、安曇野市へ今回の要望を伝え、早期に改善されるよう促してまいります。			
						縦覧の概要	期 間：平成 23 年 11 月 1 日（火）～11 月 14 日（月） 場 所：長野県都市計画課、長野県安曇野建設事務所、安曇野市役所 縦覧者：1 名、内意見書提出者 1 名		

豊科都市計画道路の見直し案 参考図



第17回安曇野市都市計画審議会 会議概要

1	審議会名	第17回安曇野市都市計画審議会		
2	日 時	平成22年12月14日 午後1時30分から午後4時30分まで		
3	会 場	安曇野市堀金総合支所 別館会議室		
4	出席者	内川委員、竹岡委員、宮川委員、板花委員、斉藤委員、宇留賀委員、勝野委員、 藤澤委員、丸山委員、横川委員、水谷委員、宮崎委員、青嶋委員、宮下委員、 宇田委員、中山委員		
5	市側出席者	都市建設部：久保田部長、都市計画課：内田課長、鎌崎係長、城取主査、 山田主査、田中主査		
6	公開・非公開の別	公開		
7	傍聴人	0人	記者	1人
8	会議概要作成年月日	平成22年12月17日		
協 議 事 項 等				
1	会議の概要			
	1. 開 会	(内田課長)		
	2. あいさつ	(久保田部長) (藤澤会長)		
	3. 会議事項			
		(1) 豊科都市計画用途地域の変更及び地区計画の決定について	} (事務局より説明)	
		(2) 都市計画道路の見直しについて		
		(3) 土地利用に関する条例について		
		(4) その他		
	4. 閉 会			
	意見概要			
	(1) 豊科都市計画用途地域の変更及び地区計画の決定について			
	○不適格建築物はどのぐらいの割合か。(委員)			
	→用途変更後の不適格建築物は無い。(事務局)			
	(2) 都市計画道路の見直しについて			
	○報告書の将来交通量の配分について、新規路線については別の標記にすべきである。 (委員)			
	○都市計画道路は豊科、穂高、堀金に設定されているが、一度に見直しをするのか。(委員)			
	→安曇野市内の都市計画道路の見直しをどのように進めていくかということであるため、市 内全域を一度に見直さないと交通量の整合が図れない。(事務局)			
	○道路全体の整備計画が分かりにくい。道路網として市で考えてほしい。(会長)			
	○実現性が高い道路についての優先順位は。(委員)			
	→道路部局で都市計画道路も含めた市内全域の路線についてどのような整備を進めていくの か検討している。本審議会にも説明したいと考えているため今後ご議論を願いたい。 (事務局)			

マスタープラン抜粋

4.2.2 分野別の取り組みの具体的な方向性

都市施設整備の基本方針を踏まえ、分野別の方針に沿って、それぞれ重点化すべき取り組みの具体的な方向性を示します。

§ 1. 道路網・交通体系の構築

● 質の高い道路網の構築

まちづくりの骨格となる幹線交通の機能強化、生活道路の安全性・利便性、物流の円滑化に資する質の高い道路網の構築を図ります。

① まちづくりの骨格となる幹線道路の整備促進

- ・第3章に示す目指すまちの基本構造において循環軸、その他の南北・東西の基幹軸として位置付く既存道路の改良
- ・南北・東西の基幹軸の機能を補完するために必要な新たな道路の整備

② 都市計画道路の見直し

- ・未整備の計画道路の必要性・実現性・妥当性の検証
- ・新たに計画路線としての位置付けが必要な道路の検討
- ・上記の検証や検討に基づく都市計画の早期変更・決定

③ 安全に通行できる歩道や自転車道の整備

- 通行量や利用形態を踏まえた整備優先度の明確化

- 利用形態に応じた整備（新設・改良）

- ・車道両側への歩道の設置
- ・必要十分な幅員の確保
- ・車道との段差など路面の凹凸の解消（バリアフリー化）
- ・連続性の確保（途中で分断されている箇所の解消）
- ・歩行者と自転車との通行帯の分離（自転車専用道の設置）

④ 混雑する交差点の改良

- ・信号機の現示改良（時差式から矢印式、歩車分離式などへの転換）
- ・右折レーンの設置（右折車待ち渋滞の解消）
- ・複雑・変則的な道路交差の改善

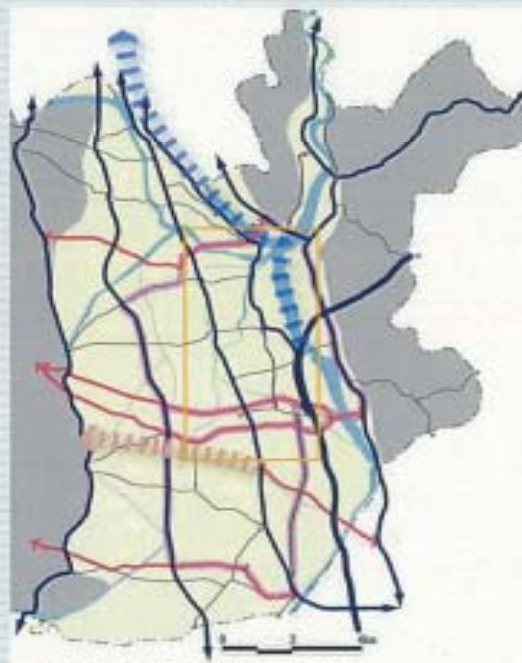


図 幹線道路の整備優先度の検討図

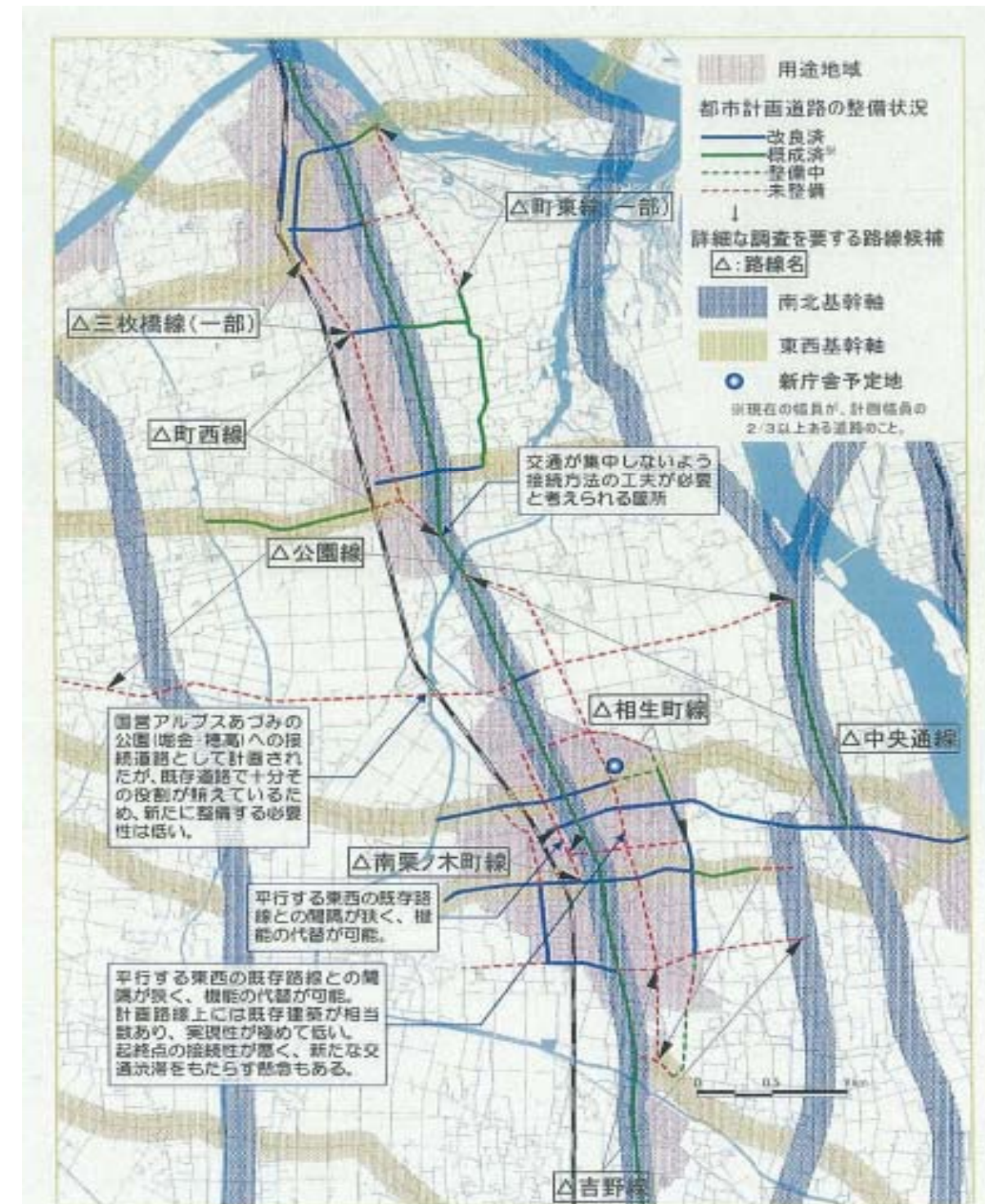


図 都市計画道路の見直し検討図